

【昭和三十年】1955

- 3月10日、埴町、笹原村合併し埴笹原町となる。
- 3月31日、石井村と高城村の一部が加わり埴町と改称

埴町が発足する

- 伊香部落大火

【昭和三十年】1956

- 財政再建団体の指定を受ける

【昭和三十一年】1957

- 1月10日、石井3地区(中石井、下石井、戸塚)分町し矢祭町へ編入
- 町内が分町問題で騒然とする

【昭和三十三年】1958

- 新農村建設事業始まる

【昭和三十三年】1959

- 1月1日、棚倉町大字八槻字松岡、津島、川原の内、久慈川本流を境とし左岸全部を埴町に合併
- 国民健康保険制度発足

【昭和三十五年】1960

- 松岡橋、米山橋竣工

【昭和三十七年】1962

- 東白四町村で、東白川地方衛生処理組合設立

【昭和三十八年】1963

- 町営那倉牧場開設

【昭和三十九年】1964

- 東白衛生処理組合し尿処理場開設

- 久慈川橋竣工

【昭和四十一年】1966

- 路線バス佐ヶ草線開通

【昭和四十一年】1967

- NHKテレビ埴放送局開局、福島テレビ埴放送局開局

局開局

【昭和四十二年】1968

- 町章制定

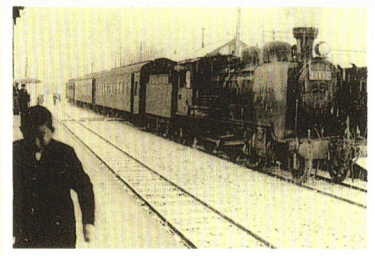
- 東白川衛生処理組合、ごみ処理業務開始



昭和40年 完成した埴大橋



昭和35年 埴町中心部全景



昭和30年 埴町のSL

【昭和四十四年】1969

- 養護老人ホーム「米山荘」新築落成

【昭和四十五年】1970

- 名誉町民に金沢春友氏推戴

- 誘置工場埴精機(株)操業開始

【昭和四十六年】1971

- 埴町役場庁舎完成移転。12月1日

【昭和四十七年】1972

- 埴簡易水道二部給水開始

- 学校給食センター完成業務開始

【昭和四十八年】1973

- 社会福祉協議会にホームヘルパー制度設置

【昭和四十九年】1974

- 高額医療費支給開始

【昭和五十一年】1976

- 社会福祉協議会法人化

【昭和五十一年】1977

- 高城簡易水道完成

【昭和五十一年】1977

- 埴保育園0歳児保育開始

【昭和五十五年】1980

- 過疎地域の指定を受ける
- 冷害により山間部を中心に14億円の被害を受ける。高冷地の水稲は収穫ゼロ

- 豪雪の被害5億円を越す

【昭和五十六年】1981

- 地籍調査始まる。真名畑地区から実施

- 国鉄埴駅開設50周年

【昭和五十七年】1982

- 農村環境改善センターオープン(現在の埴町公民館)

【昭和五十八年】1983

- 埴駅が無人化。乗車券は委託販売

- 農村勤労福祉センター、体育館が完成、オープン

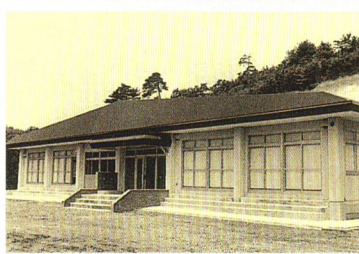
【昭和五十九年】1984

- 生活路線維持確保のため埴町代替バス出戸線、佐ヶ草線運行開始

- 奥久慈木材流通センターオープン



昭和59年 奥久慈木材流通センター



昭和52年 農業構造改善センター

埴町の歩み

まちと自然とひと。